

議会事務局竹尾幸介氏の・録音文字起こし【録音時期:2023年12月15日】

奥村昇次:去年のちょうど今頃の時期(2022年12月頃)で、自転車の安全走行についての原稿の話があったじゃないですか、いろいろ皆から違う様な情報が入った、誤解されている、自分の確認しておきたいなと思ひまして、竹尾さん一番詳しくはなかったではないですか。

竹尾:関わっていることは、はい。

奥村:他意はないので、素朴にシンプルに答えて頂ければ良いのですが。あの時12月12日に一般質問があったんですよ。

竹尾:はい

<録音 1:10~>

奥村:翌日(12月13日)は原稿締切だったのですね、自分は原稿をその日に出しましたよね

竹尾:ええ

奥村:その後は、議会報委員会が、(12月)14日か15日、16日その辺りにあったのですね?

竹尾:えー、そうですね、その日付けは調べれば。

奥村:だいたい、その日辺りだったのですね。

竹尾:はい。この日付けは調べればわかります。

奥村:その時に、自分の原稿が語尾で「~して欲しい」というのが、「~を問う」というのが一般的なので、「~して欲しい」はちょっと違和感はあるよねという話が出たんですよ。

竹尾:委員会の中で、はい。

奥村:それを事務局から奥村に聞いてみるということになったわけですよね。

竹尾:はい

奥村:その時に、「マップ作成」の話は特にその時にでなかったのですかね

竹尾:「マップ」の話は――。

奥村:後に出たんですよ?

竹尾:そこが「マップ」の――。

奥村:当局に聞いて、当局の方でちょっと「マップ作成」は、意見として言われたんだけど、質問形式ではなかったの、質問の回答としては、回答しづらいよという話がでたと言われたと後々言われたのですね。

<2:38~>

竹尾:記事(原稿)の中で、「マップについて問う」にすると、議場では3回目に言って終わつとるもんですから、回答していない事を記事にするのは、当局として作れないとか作り辛いと、はい。

奥村:最初の議会報委員会では特に、「マップ作成」の話が委員会でうんぬんという話、一般質問で出たとか出ないとかいう話ではなかったわけですよね。ただ単に「~問う」にしたかどうかという話だけだったのですね。

竹尾:そうです。

奥村:その意見を自分に翌日ぐらいに言いに来られたじゃないですか

竹尾:はい

奥村:その時に、自分は「~欲しい」を「~問う」の変更も良いですよと言ったと思うんですよね。

竹尾:はい

奥村：その結論を元に市当局に多分投げかけられたと思うのですよ、そしたら、さっきの話で、意見として奥村が「マップ作成」については言われたけれど、『質問形式ではないから、ちょっと違和感がありますね、但し、大した話ではないし、答えとしては同じ内容だから、そのままでも良いですよ』と言われたと自分は聞いたのですが。

竹尾：はい

奥村：その流れとしては、そんな感じだったですよ？

竹尾：そうです、大まかな流れとしては。

奥村：それで、それを受けて自分が、「～して欲しい」「～問う」「マップ作成を削除して問う」のどちらでも良いですよと言いましたよね

竹尾：『委員会上での判断にお任せします』とはい。

奥村：『委員会上での判断にお任せします』と言いましたよね

竹尾：はいはい。

奥村：で、そういうふうには議会事務局にはボールを預けたと思うんですよ。で、それがたぶん19日とかそのぐらいだったと思うんですけど。

奥村：それで、27日か28日ぐらいに、その話を委員長にされたんですよね？

竹尾：そうです。

奥村：そうしたら委員長の方で、「マップ作成」という話が市当局から話がでたので、気になって、確認するという

ことで、自由クラブに行ったのではないかな、それがごたごたした原因だったんだと思うんですけど。自分としては、議会報委員会に一任はしたので、終わった話かなあと思ってたんですよ。そしたら、電話が掛かってきて、至急来るように。

竹尾：時系列的に説明しますと、委員長に話をしました、中々悩ましい、昼から自由クラブに行って話をしましょうとなったんですね。ただ、結果的に私が気付かないところで、もう自由クラブに入って行って話をさせていて、委員長が、その中でどんな話になったかは、正直、僕は中にはいっていないのでわからず、話の中でもろもろあったんだろうなと。

奥村：それで、自分も呼び出されて、友松さんところに行ったら、友松さんが、『委員長に迷惑かけたし、議会事務局にも迷惑かけたのだから謝ってこい』とすごい強い口調で言われたんで、自分は本当は納得していなかったんですけどね、その場を収めようと思って、委員長に電話して、『すみませんでした』と謝って、竹尾さんの所にも行きましたよね

竹尾：はい

奥村：「迷惑かけたみたいで、すみません」と言って、その時、何があったかというのはわからなかったですよ？

竹尾：そうです、結局、相談に行きましょう、ただ、結果的にタイミングが合わなくて、すぐには行けなかった、じゃあ、また、昼からだねという話を委員長としていたのですが、昼になった時点で、私が見ていなく、廊下でぼったりあったのかどうやって会ったのか知りませんが、既に話し合いが始まっていて、ちょっと来いみたいな感じで。

奥村：話がちょっと大きくなっていったというか？

竹尾：そうそう、なる過程という表現がいいのか分かりませんが私は見ていないので、良くわかりませんが。

奥村：お昼に行こうと言ったのは、自分に会いに行こうという話だったのですか？

竹尾：(奥村が)居なかったんで、自由クラブの会派代表と相談してみて、会派の意見を聞いてみようかというか形で、はい。

<8:13～>

奥村：ただ、普通、議会報の原稿は個人任せが原則で、会派でうんぬんという話は今まで一回もしていないんじゃないですか？何でそんな異例なことをしたかなと思って。

竹尾:もう少し突っ込んだ話をしますと、見解の相違があるかも、時間が経っているので、正確かどうかなんですけれども、記事(原稿)としては、委員会の中で話を決めればいい、ただ、そもそも、そんなに思い入れがあって、当時の委員長の言葉ですが、「そんなに思い入れがあってやって欲しいことがあるのであれば、言いつばなしでなく、最後まで聞けば良いのではないかと」と。

奥村:言いつばなしでなく、質問にしたかどうかということ？

竹尾:そうです

奥村:それは、向こうから要望があって、こちらも妥協したところがあるのですけど。

竹尾:そこが非常に不思議だということを(委員長が)おっしゃっていたんですよ。

奥村:不思議だ？

竹尾:不思議というか、杏奈先生的には腹に落ちないというか。

奥村:それは、ちょっと別な、原稿とは全然別な話ですよ。

竹尾:別ですよ。

奥村:えーそういうことを言っていたんですか。それで、杏奈先生は竹尾さんと二人で午後に行くということになっていたという話になっていたんだけど、勝手に行ってしまった

竹尾:勝手に行ったというか、結果的にはタイミングが合わなく午前中に行けなく、(自由クラブ)休みから戻ってきてからかなという話をしていたら、自分が気付かなかったところで自由クラブは休みから戻ってきた、その中に(委員長が)入っていた様で、その辺りは、繰り返しになりますが、その中でどんな話になっていたのかは私にはわかりません。

<10:42~>

奥村:竹尾さんの個人的な見解で言うと、自分に直接電話なりで相談すればいい話を、自由クラブに2人で行って誰かに相談するというのは、そんなに上手い処理の仕方じゃないんじゃないかなとは思わなかったですか？

竹尾:確かに今になると、その部分は、おしゃられるところがあると思います。又、その当時はそこまで正直気が回らなかったというところと記事の所は、諮ればいいという話であったのですから、記事内容については委員会の中で皆で話し合えば良いと。

奥村:記事？、原稿

竹尾:原稿ですね

奥村:原稿については、自分は委員会に一任しましたよね。

竹尾:そうです、そうです。

奥村:委員会で判断してもらえばいいと持っていったんで、それを自由クラブに行ってどうなっているんだと言われると、自分は委員会に一任しているのに何で自由クラブに話が行くのかなと思って。

竹尾:自分がやりたいことであれば、言えばいいんじゃないかと。仮に切られるかも知れないけれど堂々と言えば良かったと、そこが不思議だという話になって、そういった部分もどうなの、ちょっと表現が雑ですけども、どうなんだろうな。そういう部分を記事どうこうというより。

奥村:そんな話だったのですか。記事の話をしているのに、一般質問の仕方について、何かおかしいんじゃないかというか、妥協せずに自分の考え方を一般質問でしたらいいんじゃないかということそういうふうに思って自由クラブに話に行くということは全然筋違いですよ。

竹尾:自分の認識としては記事のことそのものは委員会に諮ればいい

奥村:原稿のことですね、原稿のことは委員会に諮ればいい

竹尾:そういう認識でした。

奥村:委員会で諮れば良くて、自由クラブなんかは関係ないですよ、正直言って。

竹尾:記事のことはですね。

奥村:あと、その原稿なんですけど、(12月)28日が締切だったのですか？

竹尾:そうですね、3回目の(議会報)編集委員会に載せたりですとか、最終的に当局にこっち側(当局)の記事を書いてもらう時間的なことも考えて、多分そういう言い方をしたと思う。3回目の段階では、こっちもこっちも両方入った状態で最終的に印刷という形になって、それを、年内を過ぎると当局からの記事が入らなくなってしまう。

<14:23~>

奥村:当局からの記事は、もう出たのではないですか。当局からの回答は、自分も見だし、多分(12月)18日そのぐらいに見たんですよ

竹尾:そうですね

奥村:「マップ作成」については全く書いていなくて、それはこのままで行けばいいんだなと思っていたんですけど。だから、入っていましたよね？

竹尾:はい、記事としては入っていて、確定させるというか。

奥村:だから、28日に最終原稿というか印刷屋の最終締切でなくて、委員会に掛けるという段階の最終目標みたいな感じだったのですよね？

竹尾:印刷屋に掛ける為の最終校了かという質問に対しては、『NO』です。

奥村:それは1月10日とかという感じですね？

竹尾:そうです。その通りです。

奥村:だからこのところで大騒ぎして、今日中にとかいう話ではなかったですね？

竹尾:確かに、最終校了の印刷屋に持っていかの段階より手前の段階でした。

奥村:わかりました、だいぶ見えてきました。有難うございます、ちょっとすっきりしました。杏奈さんの話とちょっと食い違うようなところがあって、自分はその辺りお二人のやりとりがわからないところがあって、確認しておいた方が良かったのです。ありがとうございました。

竹尾:私ができる範囲のことであれば、又あくまで私の記憶の経験した中での話ですので、繰り返しになりますけど、結果的に私が会えなかった、そこで何が起こったのか、そういうことはちょっと話せなかった。

奥村:竹尾さんの知っているところだけの話をお聞きしたかった。その先の話は誰もわからない話ですから結構です、ありがとうございました。

以上